

むかいしま ゆた しせん い 『向島の豊かな自然と生きものたち』

だい かい 第15回 「ゴミ」の名が付いた虫達

「鉄腕アトム」や「リボンの騎士」の作者で漫画家の手塚治虫さんの名前には「虫」の字がありますね。めずらしい名前ですが「治虫」と書いて「オサム」と読みます。「治虫」は本来「オサムシ」という「ゴミムシ」の仲間の名前です。

今回はその「ゴミムシ」と名が付く虫を集めてみました。ゴミムシって変な名前!? ゴミなんて名前を付けられてかわいそーですよ! ゴミの数ほど多くの種類がいるからですかね??? それとも、ゴミの中にいるからですかね??? ゴミゴミした所には、確かにゴミムシの仲間はたくさんいるんだけどね…

手塚治虫先生も虫が大好きで、多くの虫を採集し観察し、スワック干もしているし、オサムシっていう虫の中にはものすごく美しくてキレイな種類がいます。

で、ゴミムシなんてほとんど黒くて目立たないんじゃないけど、どーしてそーなったんかね?

そんな、黒くて目立たない虫を集める楽しさを、ちょっとゆうてみようかな。ゴミの中や昆虫や動物の死がい、落ち葉の下やくさった野菜や果物を、このゴミムシが食べてくれる事によって土に戻って行って、草になり樹木になり…自然のサイクルに非常に役立っています。ゴミムシ達は、そんな事分かってないかもしれないけど、人間から見るととっても有用で大切な虫であるという事じゃね。

しかも少数じゃなくて多くの種類がいることが大切な事なんだと思います。

そーゆう風に見てみると、ただただ黒くてちっちゃくても、1匹1匹に命があり、生きていること・命をつなげてくれる事が、人間のわれわれにも役立っていることが分かると思うんじゃないかね!